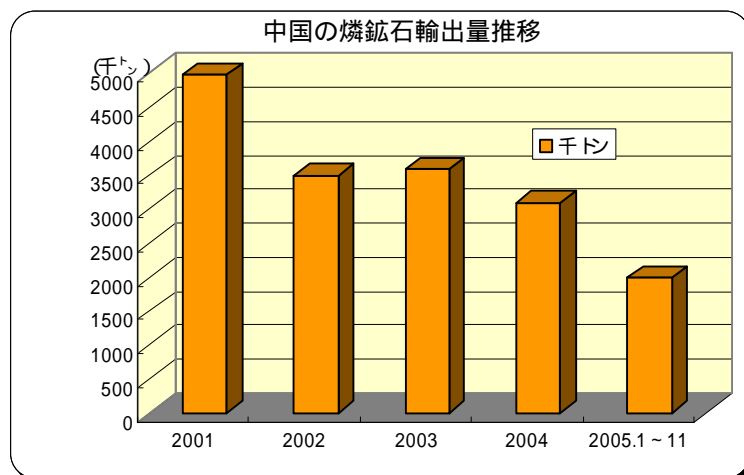


# 今年も続く高値市況

## ～世界の肥料原料 その2

### 磷酸質

磷酸質肥料においては原料から製品に至るまで昨年に続き需要が逼迫し、市況価格高騰の年となった。粗原料である燐鉱石では中国の国内市場優先政策による輸出規制が大きな影響を与えた。この政策は中国国内の需要期における製品確保に留まらず、国内の貴重な燐資源を将来にわたり内需用に優先していく国策でもある。この為、中国の燐鉱石輸出量は2001年には500万トン（モロッコ、ヨルダンに次いで世界第3位）あったが、年々減少に転じて2005年1～11月の輸出実績では前年同期比三割



弱まで落ち込んでいる。この事により世界の燐鉱石貿易は供給不足を引き起こし、市況が大幅に上昇した。主要燐酸製品であるDAPでは全世界の貿易量12.1百万トンの半分を占める米国の生産コストの上昇と燐酸工業の寡占化の更なる進行が主要因となり、需給逼迫・市況高騰を引き起こしている。DAPの主原料となる燐鉱石・アンモニア・硫黄の市況、更にはエネルギーコストの高騰により、米国燐酸生産コスト

(次ページ中段へ続く)

### 遠めがね

藤原正彦著の「国家の品格」が170万部を超えるベストセラーとなり、政財界でも大変な話題となっている。マスコミを騒がした拝金主義、官民あげての米国式合理主義に真っ向から反発し、日本人が長い間育んできた「美しい情緒」、惻隠、自愛、誠実、恥と名誉などの「形」は何処に行ってしまったのか。まさに「国家の品格」を問われていると警鐘をならしている。会社経営が危機に瀕した時に、役員は月給を減らし、ヒラ社員も月給が半分になっても粘り、会社を再生させたあの「経営者と従業員の心の通い」「従業員の会社への忠誠心」「人間の心の安定をもたらした終身雇用」をバブルが弾けた、不況だと言ってあっさり捨て去ってしまった日本人、この狼狽ぶりを「恥じ」と思えよ！と主唱している。市場原理主義、短期的な成果主義、利を求めた社会貢献なども批判の対象となっている。それでは、商人は何を目的に何をしていけばよいのか？と反論したくなる。その答えを、丹羽伊藤忠会長が簡潔に述べている。「人間は、読書で磨かれ、仕事で磨かれ、人で磨かれていくものです。努力して、下働きをし、人のために汗を流して仕事の意義を感じることができる。株で一攫千金というのは、いつかメッキが剥げる」。なかなか出来ることではないが、肝に命ずる名言である。昨今、後継者不足、後継者の育成が会社経営にとって最も重要な課題といわれているが、歌舞伎、茶道、華道の世界ではうまくやっている。その違いは、跡取り教育にどこまで努力していたかを忘れたからではないだろうか。教育には時間が掛かるもの。学校教育に加えて家庭教育の大切を痛感するこの頃だ。

(win)



最近テレビやCMでも話題の脳トレーニング。コーヒーブレイクに脳をトレーニングしてみるのはいかがでしょうか？答えは下段にあります。(NEWS WEEK より抜粋)

Q 1 : スポーツ用品メーカー、ナイキの有名なロゴ「スウッシュ」のオリジナルのデザイン料は \_\_\_\_\_ ドルだった

Q 2 : 今後大きな成長を見込まれる国の総称はB R I C s。I B S A Cは、インド、ブラジル、\_\_\_\_\_、中国のことである

Q 3 : ルイ・ヴィトンの有名な「モノグラム」は1896年に \_\_\_\_\_ を目的として考案された

Q 4 : 1987年12月21日、ナスダック(米店舗市場)の取引は \_\_\_\_\_ による停電で約1時間ストップした

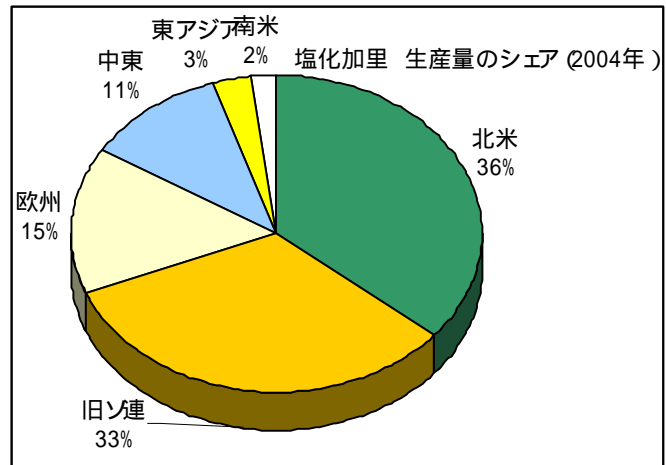
(前ページ中段より続く)

は大幅に上昇。その結果2005年の米国FOB価格も史上最高の水準で推移した。一方、IMCとCARGILLの合併により誕生した米国最大の燐酸生産者であるMosaic社が100万トンのDAP生産能力を持つUS Agrichemicals社への燐鉱石供給を打ち切ったため、USA社がDAP生産停止を余儀なくされた。USA社の消滅により北米でDAP輸出能力を有する生産者はMosaic社とCF Industries社の2社となり、サプライヤーによる生産調整が一層容易な状況となった。

### 加里

燐酸同様に偏在資源である加里質肥料においても、昨年に続き需給が逼迫した一年であった。

近年、塩化加里の輸入量を伸ばしていたブラジルでは、前述通り農家収入の下落に伴い輸入・需要とも大幅に減少したものの、人口増加及び経済成長の著しい中国・インドの輸入需要が前年比各々100万トン超増加した為、需要逼迫感が継続し、市況も引き続き高騰した。中国・インドの加里質肥料輸入量は各々800万トン・400万トンに達し、両国の輸入量は全世界貿易量の3割近くに迫る勢いである。今後も更なる需要拡大が見込まれることから、両国の加里質肥料輸入動向が、世界の需要・市況に大きな影響を与えることは必至である。



供給面では全世界の塩化加里生産量は54.3百万トンと前年比4%の増加となる見込みであり、そのうち約8割の42.5百万トンが輸出に回るのが加里質肥料の特徴である。全世界の生産稼働率は85%と能力のほぼ限界に近づいており、若干の輸出余力を持つのはカナダ・旧ソ連地域のみであるが、不需求期には生産調整機能も果たす。市況高騰を背景に各国で増設・新設計画が発表されているものの、今後数年間は需要の伸びに増産が追いつかない状況に変わりなく、当分市況軟化要因は見当たらない。

### 【答え】

A 1 : 35ドル。大学を卒業後、仕事を探していたキャロライン・デビットソンがデザインした

A 2 : 南アフリカ。G 8入りをしたロシアへの配慮とアフリカ諸国へのアピール

A 3 : 模倣品の防止。主力製品ダミエのコピー商品が出回ったため

A 4 : リスの電気系統への侵入。アルミホイルをくっつけたまま電気系統に進入したりスは感電死した